



2020年度

謝礼・交通費
全て無料です。

出前授業 Menu

久留米信愛短期大学

久留米信愛短期大学では、本学の教員が高等学校へ出向いて授業を行う「出前授業」(無料)を行っています。本学で実際に行われている授業や、さまざまな分野の学びのエッセンスを、多くの生徒の皆様に体験していただきたいと思います。進路指導の機会や総合的な学習の時間などにご活用いただければ幸いです。関心のある授業がございましたら、お気軽に本学入試課までご連絡ください。



久留米信愛短期大学
KURUME SHIN-AI COLLEGE



幼児教育学科

Menu

| 講座 No | 講座名 | 講座内容 | 講師(専門) |
|-------|--|---|-------------------------------------|
| 1 | 「子どもを見る目」 | 保育や幼児教育に興味がある人へ。 子どもを見る時にどんな風に子どもを見たら子どもの心がわかり子どもと心が通じるのでしょうか。ひよっとすると私たちが子どもから見られているのかもしれない。 | 関 聡 教授 (教育学) |
| 2 | 「子どもとのつきあい方」 | 幼稚園や保育園の先生になりたいと思う人へ。 子どもと接する時にどんなことを心がけると子どもの心がわかり子どもと心が通じるのでしょうか。幼稚園や保育園の先生はどんなふうに子どもとつきあっているのでしょうか。 | 関 聡 教授 (教育学) |
| 3 | 「子どもと楽しむ音楽表現」 | 子どもたちが大好きな歌を使って、友だちと表現する楽しさ、歌う楽しさ、音楽に合わせて表現する楽しさを体験します。その体験の中から子どもたちを保育するということがどんなことであるかを考える授業です。 | 椎山 克己 教授 (音楽表現) |
| 4 | 「保育の世界」 | 乳幼児期の子どもの成長を支える保育の仕事内容、保育士や幼稚園教諭に必要な知識や技能について、絵本の読み聞かせや手遊びなどの表現遊びの体験を通して知ることができる授業です。 | 椎山 克己 教授 (音楽表現) |
| 5 | 「コードを知ってピアノ伴奏」 | ピアノで伴奏するのは、とても大変とすることがありますよね。この授業ではコードを知ってその基本形で伴奏体験してもらいます。伴奏するのが楽になったと感じてもらえるきっかけになる授業です。 | 原 浩美 教授 (ピアノ演奏法) |
| 6 | 「幼児のうたを弾いて音遊び」 | 「ジングルベル」「ぶんぶんぶん」などの幼児のうたを簡単な伴奏譜で弾いてみましょう。指で弾く場所を一音違えると、曲の感じが変わります。実際に体感しているいろいろな曲で音遊びをしてみましょう。 | 原 浩美 教授 (ピアノ演奏法) |
| 7 | 「保育者のためのコミュニケーション入門」 | 保育者には、子どもと保育者、保護者と保育者、保育者同士にいたるまで、さまざまなコミュニケーションの取り方があります。将来、保育者をめざすみなさんにとって、コミュニケーションは避けて通れないものです。その様々なスキルについてお話いたします。 | 桑原 広治 教授 (憲法学／幼児教育学／コミュニケーション教育) |
| 8 | 「保育者に求められる人権を大切にす保育」 | 21世紀は「人権の世紀」と言われています。保育の分野に目を向ければ、子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てる保育が大切です。保育者をめざすみなさんと一緒に人権について考えてみたいと思います。 | 桑原 広治 教授 (憲法学／幼児教育学／コミュニケーション教育) |
| 9 | 「踊って謎解き！ 幼児体操・ダンスの不思議」 | 近年、テレビ番組やCM等で、幼児向けのダンスや体操を目にする機会が増えました。「日本最古の幼児体操って？」「この動き、どんな意図が込められているの？」そんな疑問について、実際に踊ってみながら紐解きます。 | 新井 真実 准教授 (舞踊学／身体教育学) |
| 10 | 「幼児教育・保育の仕事」 | 幼稚園の先生や保育園・こども園の先生の仕事の中には、皆さんが知らないことがたくさんあります。子どもがいない時間に先生が何をしているのか、どんなことを大切に考えながら保育をしているのか等を知る機会になる授業です。 | 増田 吹子 准教授 (幼児教育／保育) |
| 11 | 「鈴と、小鳥と、それから私、みんながって、みんないい。」(金子みすゞ) | 自分の価値観、他者の価値観はそれぞれ違いますが、よく聞いてみると「その考え方もある！」と気づくことも多くあります。自分のこと、友達のことをもっと知ることの出来る授業です。 | 園田 和江 講師 (社会福祉) |
| 12 | 「言葉はなくても、気持ちは伝わる」～音とリズムで広がる楽しいコミュニケーション～ | 1つの音や動きでも、言葉を使わないコミュニケーションが取れます。何かしらの障がいのある人と心が通い合います。自分の心や体の動きを改めて感じながら、非言語コミュニケーションの大切さを知ることができる授業です。 | 園田 和江 講師 (社会福祉) |
| 13 | 「自分のイメージを表現しよう」 | 「お話」あるいは「詩」を読んで感じた事を絵に描きます。絵本や詩集の表紙や挿絵を考えてみましょう。 | 内野 香 講師 (芸術学) |
| 14 | 「未来の私」 | 未来の自分(私)を想像し、そこに至る時間の流れを墨と筆で描き、水彩で彩色します。 | 内野 香 講師 (芸術学) |
| 15 | 「手あそびうた・わらべうたでうたってあそぼう」 | 乳幼児にとって触れ合いを伴ううたあそびは音楽教育の始まりとなります。そのようなうたを実際にうたって一緒に楽しむ授業です。 | 坂田 万代 助教 (音楽教育学) |
| 16 | 「手作り楽器で楽しもう！」 | 簡単な手作りの楽器をつくり、子どものうたと共に演奏して楽しみます。幼児教育と音楽のつながりを感じてもらう授業です。 | 坂田 万代 助教 (音楽教育学) |

講座No.17 子どもと楽しむからだあそび

幼児教育学科 新井 真実 准教授(舞踊学／身体教育学)



幼児期は、楽しく主体的な遊びの中で“器用な身のこなし”を身に付ける時期。幼児期における運動の重要性を知り、効果的な運動の実践例を体験します。スポーツへの興味と幼児教育とが結びつくきっかけとなる授業です。

講座No.18 遊びって何？

幼児教育学科 増田 吹子 准教授(幼児教育／保育)



保育では、子どもが遊ぶことはとても大切なことだと考えられています。その子どもの遊びについて、子どもの頃の出来事を思い出したり実際に遊んでみたりしながら、なぜ大切なのか考えます。



フードデザイン学科

Menu

| 講座No | 講座名 | 講座内容 | 講師(専門) |
|------|------------------------------------|---|-----------------------------|
| 19 | 「あなたも栄養士！ ～ミニ栄養指導を 体験してみよう。」 | 栄養士は、対象者のライフステージに合った「健康的な食生活」をアドバイス(栄養指導)します。受講者は栄養士または対象者の役になります。対象者役の受講者は、料理カードを使って「自分が食べたい献立」を提示します。栄養士役の受講者は、提示された献立について、対象者に「ミニ栄養指導」を行います。対象者に合わせた栄養指導の実際を体験することを目的とします。 | 山下 浩子 教授 (食教育/栄養指導) |
| 20 | 「季節・行事・旬の食材 について」(講義・実習) | 日本には四季があり、その季節ごとに旬の食材があります。また伝統的な年中行事や通過儀礼に関わる食べ物があります。季節・行事・旬の食材について学び、簡単な行事食作りにチャレンジしましょう！ | 山村 涼子 教授 (調理学/食教育) |
| 21 | 「食べることは「生きること」 | 私たちの身体は、私たちが食べたものだけで作られています。つまり日々の食事が健康生活につながります。生涯にわたり健康を維持するためのバランスの良い食事・食生活習慣について考えるきっかけになる授業です。 | 山村 涼子 教授 (調理学/食教育) |
| 22 | 「栄養あるあるクイズ」 | クイズ式で体の仕組みについて、また食品などについての質問をします。栄養や食べ物や人体について関心を持つように設問を提示します。ゲーム感覚で楽しみながら興味を引き出す工夫をしたいとおもいます。 | 石井 妙子 教授 (給食管理/ 臨床栄養) |
| 23 | 「栄養士の仕事って？」 | 栄養士の職場として、どのような職場があるのかを具体的に紹介します(保育園、高齢者施設、病院、小・中学校、社員食堂、食品会社、自衛隊、大学、フリーランス、児童福祉施設、障がい者施設、商品開発)。 | 石井 妙子 教授 (給食管理/ 臨床栄養) |
| 24 | 「パックスッキングにトライ」 (実習) | 摂食嚥下に問題のある方や災害時のエコッキングとして注目されているパックスッキングを実習します。一つの鍋で主食・主菜・副菜、デザートが同時にしかも柔らかくできます。 | 石井 妙子 教授 (給食管理/ 臨床栄養) |
| 25 | 「人体に付着している 食中毒菌」 | 私たちの皮膚(ピアスの穴、傷跡)や鼻腔などから、食中毒菌(黄色ブドウ球菌)が分離されます。フードデザイン学科では、食品衛生教育の一環として、黄色ブドウ球菌検査実験を行っています。実験風景や黄色ブドウ球菌検出率について、スライドを見せながら説明します。 | 江越 和夫 教授 (食品学/ 食品衛生学) |
| 26 | 「料理の組み合わせで バランスのとれた 食事に变身！」 | 健康に生活していくためには、栄養バランスの良い食事をする必要があります。献立を考えるとときのポイントを知って、明日からの自分の食事を意識するきっかけになる授業です。 | 眞部 真紀子 准教授 (食教育) |
| 27 | 「おいしい」って何？ | 料理の味は「口(舌)」で感じるものだと思いますよね。それは本当だろうか。「食の喜びは心で感じる。口ではない。」という人もいます。「おいしい」をいろんな角度から考えてみませんか？ | 眞部 真紀子 准教授 (食教育) |
| 28 | 「栄養学ってなんだろう？」 | 「栄養学」とはどんな学問なのか、生きていくために必要不可欠な「食」と「栄養」の役割についてわかりやすく講義を行います。また、食生活チェックシートで自分の食生活を振り返り、朝食の欠食や過度なダイエットなど、若い世代の食と栄養に関する問題について一緒に考えていきます。 | 脇本 麗 講師 (基礎栄養学/ 生化学) |
| 29 | 「あなたの骨は大丈夫？」 | 骨量(骨のカルシウム量)は20歳前後でピークを迎えるので、10代のうちに食事からカルシウムを積極的にとることが大切です。骨がもろくなるや将来どんな症状や病気を引き起こすのか、またその予防のための食事や生活習慣について講義を行います。 | 脇本 麗 講師 (基礎栄養学/ 生化学) |

講座No.30 若い世代の食育推進

フードデザイン学科 山下 浩子 教授(食教育/栄養指導)



「食育」って、何？何をやることなの？若い世代に必要な食育って何なのか、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、受講者間でグループディスカッションを行い、自分のためには何をやればよいのか、取り組む内容を考えます。「自分ができること」を一人ひとりが発表し合うことで、「若い世代の食育の推進」の大切さに気づくことを目標とします。

講座No.31 微生物と食品加工

フードデザイン学科 江越 和夫 教授(食品学/食品衛生学)



コウジカビや納豆菌などの微生物により、どのように加工食品が作られるかを解説します。例えば、「コウジカビを飯に作用させて甘酒を作ると、甘くなるのはなぜか」、「大豆と納豆のアミノ酸量の違い」等について、スライドを見せながら説明します。

「出前授業」申込書

—FAX・電話・メールにて、ご希望をお知らせください—

| | | | |
|------------------------|--|-------------|-----------------------------|
| 貴校名 | 高等学校 | | |
| ご担当者名 | ご担当部署 (役職名) | | |
| ご連絡先 | 電話 | | |
| | FAX | | |
| | E-mail | | |
| 実施対象 (学科・コース等) | 受講予定学年 受講予定者数 | | ()年 ()名 |
| 授業形態 | <input type="checkbox"/> 学校行事() <input type="checkbox"/> 授業の一環() <input type="checkbox"/> その他 () | | |
| 第一希望 | 講座No | No() | |
| | 講座タイトル | | |
| | 希望日 | 年 月 日() | |
| | 実施時間 | 午前・午後 : ~ : | |
| 第二希望 | 講座No | No() | |
| | 講座タイトル | | |
| | 希望日 | 年 月 日() | |
| | 実施時間 | 午前・午後 : ~ : | |
| 資料配布 | <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 大学案内 <input type="checkbox"/> 募集要項 <input type="checkbox"/> オープンキャンパス等の案内チラシ <input type="checkbox"/> その他() | | <input type="checkbox"/> 不可 |
| 使用予定 教室 | 使用可能 設備 機材等 | | |
| ご質問ご要望等ございましたらご記入ください。 | | | |

- *原則2週間前までにお申し込みをお願いします。お早めにご相談いただけるとスムーズです。
- *派遣教員に対する謝礼・交通費等は必要ありません。
- *ご希望にはできる限りお応えいたしておりますが、
教員のスケジュール等の都合でお引き受けできない場合はご容赦ください。

(お申込み・お問い合わせ) 久留米信愛短期大学 入試課

〒839-8508 福岡県久留米市御井町2278-1
TEL: 0942-43-4532 FAX: 0942-43-2531
E-Mail: nyushi@kurume-shinai.ac.jp